

## ■大会記念事業

### 子ども支援事業 支援先及び支援金額、受渡方法

#### 支援先5カ所

■フードバンク	代表者	支 援 概 要	支援金額	来訪日時(目録と写真撮影)
①しんぐるまざあず・ふぉーらむ北海道	平井照枝さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別に食品パッケージと支援資料を添えて発送している。5kgのお米など食材を合わせると1件あたりの送料は1000円かかる。</li> <li>●セコマと交渉中だが、ひとり親家庭などへお弁当500円×400名(会員200名1世帯こども2人×5食=100万円)をセコマさんが賛同してくだされば寄付金を集めて配布予定。</li> </ul>	20万	2020年4月27日(月)14:00 キャビネット事務局
■子ども食堂	代表者	支 援 概 要	支援金額	来訪日時(目録と写真撮影)
②NPO法人子どもの未来・にじ色プレス	安田香里さん	コロナの影響にて子ども食堂は休止中ではあるが、スペースを開放しながら、子ども達の見守りやお弁当の配布などを行っている。	20万	2020年4月28日(火)16:00 白石区栄通7丁目オニオンビル1F イタリアンレストラン グロリア
③認定NPO法人Kacotam	高橋勇造さん	学習支援と食事の提供を行っている。現在、人数制限しながら運営しているが、小・中・高校生へ開放し、食事提供も行っている。	20万	2020年4月27日(月)16:30 キャビネット事務局
④すすきのこどもCaféわくわく	佐野久美子さん	コロナの影響にて子ども食堂は休止中だが、子ども達の休校中、お弁当などの配布を行う予定。	20万	2020年4月27日(月)14:00 キャビネット事務局
⑤ちとせこども食堂スキップ	島津静香さん	子ども食堂は休止しているがお弁当の配布を行っている。4月28日(火)お弁当を作り配布をする。	20万	2020年4月28日(火)10:00 千歳市東雲町2丁目34 千歳市総合福祉センター 調理中なので3階調理室



しんぐるまざあず・ふぉーむ北海道 平井照枝さん



すすきのこどもCaféわくわく 佐野久美子さん



認定NPO法人Kacotam 高橋勇造さん



地区GSTコーディネーター L 前川忠男  
地区FWTコーディネーター L 設楽幸子



第一副地区ガバナー L 諏訪昇三とともに



NPO法人子どもの未来・にじ色プレス 安田香里さん



ちとせ子ども食堂スキップ 島津静香さん



COVID-19緊急支援物資マスク



# ライオンズクラブ国際協会

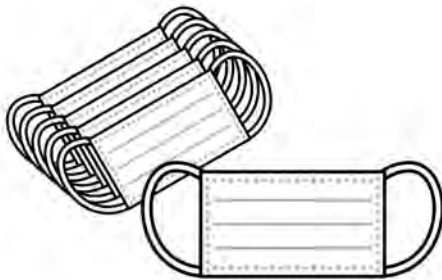
(一社)日本ライオンズ COVID-19緊急支援物資寄贈

【広報ちとせ】 2020年5月号

## 育てていただいた地に恩返しをしたい ライオンズクラブがマスク寄贈



医療現場のマスク不足が続く中、4月24日にライオンズクラブ国際協会331A地区ガバナーの鈴木善一さんが(一社)千歳医師会にマスク2千枚を寄贈。鈴木さんは、4月21日にも、(福)千歳いずみ学園に4千枚を寄贈しており、「数は限られていますが、有効活用いただければ」と話し、手渡されました。



【ちゃんど】 2020年5月8日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててもらおうと、ライオンズクラブ国際協会331A(道央)地区の管理役員を務める鈴木善一ガバナー(千歳ライオンズクラブ所属)は4月24日、千歳医師会の佐藤貴会長(写真左側)千歳佐藤整形外科医院理事長)にマスク2000枚を寄贈しました。

## ライオンズクラブが 医師会にマスク2000枚寄贈



寄贈には、鈴木ガバナー(写真中央)と地区M・C(マーケティングコミュニケーション)委員の伊藤直人委員長が同行。「ライオンズはさまざまな奉仕活動を展開しているが、今

新型コロナウイルスは新型ウイルスの感染防止に力を入れています」と説明、「困難を皆で乗り越えていきたいと思います」との呼びかけに、佐藤会長は「大変にありがたいです。有効に活用させていただきます。」と感謝を述べました。

寄贈にあたっては、ライオンズクラブ国際財団が感染症対策への支援として交付した10万ドルをもとに、日本ライオンズが中国ライオンズの協力を得て20万枚のマスクを購入。感染者が多い13都道府県に対しマスクを割り当て、北海道には1万2000枚が送付されました。ライオンズの道南地区と道東地区にそれぞれ3000枚を、道央地区には6000枚を割り当て、うち4000枚を千歳いずみ学園を通じ

て札幌近郊の障害者施設に寄付しています。鈴木ガバナーは「感染拡大は世界中に暗い影を落としますが、必ず夜は明けます。1日いちにちを耐えて夜明けを待ちましょう」と話しています。(編集部 葉多楚)



【苫小牧民報】 2020年4月28日(火)

## LC国際協会331-A地区 千歳医師会などにマスク寄付



鈴木ガバナー(左から2人目)がいずみ学園にマスクを届けた(提供)

ライオンズクラブ国際協会331-A地区(鈴木善一ガバナー)はこのほど、千歳医師会(佐藤貴会長)と千歳市内の社会福祉法人いずみ学園(今村静男理事長)にマスクを、ちとせ子ども食堂スキップ(島津静香代表)に20万円を寄付した。

マスクはライオンズ国際協会(LIFE)交付の10万円を元に日本ライオンズが購入した20万枚の一部。21日にいずみ学園を通じ4000枚を札幌近郊の障害者施設、24日には千歳医師会に2000枚を届けた。

鈴木331-A地区ガバナーは「障がい者施設や医療機関でマスクが入り手できず苦労している。新型コロナウイルスの感染拡大の防止に役立ててもらいたい」と話した。また、28日まで「ちとせ」子ども食堂スキップをはじめ、331-A地区など5カ所の子ども食堂やフードバンクに各20万円を寄付した。

スキップでは、家庭から要望が多い即席ラーメンやホットケーキミックスなどの食材を購入し市内60世帯200人に届ける。

島津代表は「先が見えない新型コロナウイルスの影響で保護者も子供も大変な状況の中、親子がほっとした時間を過ごすことができます」と感謝を述べた。

331-A地区は札幌市と石狩、空知管内72クラブ2700会員で構成する。